

おわりに

本稿を書くにあたって、北大の菊地勝弘助教授、東北大の大西外史助教授、東大の広田勇助手、名大の武田喬男助教授と飯田汲事教授、京大の山元竜三郎教授、浅井富雄助教授から、各大学の大学紛争後の新しいカリキュラム、過去5年間の学部学生の就職先などについて資料をいただきました。

また米国プリンストン大学内 NOAA 地球流体力学研究所の真鍋淑郎教授から米国の大学院の講義のあり方、三菱電機鎌倉製作所研修センターの儀間信英所長から企

業内教育と開発エンジニアの教育制度、人事院任用局の専門官の方々から公務員上級職受験の実状などについて、ご意見や討論をいただきました。

また気象大学の増原良彦講師から研究者と学者と教育者の違い、荒井哲男助教授から徒弟制度の問題点について多くの討論をいただきました。上の方々に厚く感謝申し上げます。

これらの方々からいただきました資料は、必ずしも直接にかかかっておりませんが、本稿の各所に下敷として使用してあります。

第9回日本学術会議会員候補者推薦投票について

4月3日現在、標記に関連し、立候補者および被推薦者の届出がありませんので、さきの告示(天気 Vol. 17, No. 12, p.583)により自由投票を行ないます。

1) 「天気」昭和46年4月号 (Vol. 18, No. 4) 折り込みの所定の投票用紙に第9回日本学術会議会員(全国区)の候補推薦者氏名を**2名連記無記名**の上、以下の方法で投票すること。

2) 投票用紙は必ずノリヅケ密封の上、外封筒(形式は自由)に密封して、**昭和46年6月12日**までに必着するよう郵送(15円切手貼付)又は選挙管理委員会で指定した投票箱(気象庁電計室内)に投入すること。

宛先

東京都千代田区大手町 1-3-4
気象庁予報部電子計算室内
日本気象学会選挙管理委員会

3) 外封筒には、必ず投票者の**所属地区名と氏名**を下記要領で記入すること。

例

○ ○ 地 区
甲 野 太 郎

(注)

下記の場合は無効投票となりますから注意して下さい

- (1) 投票者が日本気象学会の**通常会員**でないとき。
- (2) **3名以上**の推薦者氏名を記入したとき。
- (3) **所定の投票用紙**を用いないとき。
- (4) 投票用紙及び外封筒が**密封**されていないとき。
- (5) 投票者の**所属地区及び氏名**が記入されていないとき。
- (6) **所定の期日**までに到着しないとき。
- (7) 1つの外封筒に**2枚以上**の投票用紙が入っているとき。

日本気象学会選挙管理委員会

委員長 窪田 正八

委員 安藤隆夫, 浅田暢彦, 大河内芳雄
新田 勲, 北出武夫